

平成 19 年（2007 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（1 日目）

平成 19 年 12 月 12 日（水）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	大 浜 美早江 (公 明 党)	1 教育行政について	(1) 学校における光熱水費節減について ① 宇栄原小学校の取り組みの成果及び工夫した点を伺う ② 本市として今後どのように拡充をしていくのか (2) 学校における節水対策について ① 本市の現状・実績と取り組みを伺う(過去 5 年間) ② 県内の高校における節水対策について参考になるかと思うが見解を伺う (3) 学校裁量予算について ① 本市の現状と取り組みについて伺う ② 教育長の見解を伺う
		2 交通行政について	おもろまちメディカルセンター横の信号機の設置及び周辺の交通安全対策について、進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	比 嘉 瑞 己 (日本共産党)	1 認可保育行政について 2 障がい者への就労支援について	(1) 那覇市の認可保育園の果たしている役割と、施設の老朽化問題への見解を伺う。「子供の安全確保」の観点からも耐震調査も行い、施設整備費、運営補助費を堅持すべきである。当局の見解を伺う (2) 「子育て支援センター」や「子育て応援デー」の果たしている役割や利用状況を伺う。妊娠時からの育児不安の解消や、産後の子育て支援を充実するために「かかりつけ保育園登録制度」の実施や、その支援として子育てコーディネーターを全園に配置して欲しいと要望があがっているが、実施すべきではないか。当局の見解を伺う 今年6月の定例会で「障がい者への就労支援について」の個人質問を行った。市は就労支援のための独自の仕組みをつくり、就労移行を進めると答弁した。その後の取り組みについて以下伺う (1) 障がい者の就労支援を行う「ジョブコーチ」の役割は重要である。那覇市には要望に対応できる人員は確保できているか。那覇市独自ではじめる「ジョブサポーター」との違いや関係は何か。ジョブコーチ・ジョブサポーターともに養成・導入支援などして就労支援を進めるべきである。当局の見解を伺う (2) 那覇市や教育委員会などの障がい者の法定雇用率は満たしているか。雇用状況や「仕事の確保」の現状を伺う。職員の名刺作成などを発注するなど、障がい者の皆さんへの「仕事の確保」を進めていくべきである。その効果を含めた見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 高齢者おむつ助成制度について	「おむつ助成制度（介護用品支給事業）」の果たしている役割とその意義について伺う。支給対象となっていない病院や施設に入所している寝たきりの高齢者にも支給すべきである。その対象人数と当局の見解を伺う
		4 私道整備事業について	那覇市には公共的な性格をもった私道はどれくらいあり、整備率はいくらか。地域住民からも喜ばれ生活環境の向上、通行の安全性を確保している「私道整備補助事業」の予算を削るべきではない。過去5年間の予算の推移と今後の方針を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	崎 山 嗣 幸 (社 社 連 合)	1 新庁舎建設 について	(1) これまでの新庁舎建設の経緯と進捗状況を伺う (2) 新庁舎の基本的な考え方を伺う (3) 規模、建設費、機能、位置を伺う (4) 新庁舎の建設スケジュールを伺う (5) 来庁者、駐車場利用の実態調査を伺う (6) 開南小、敷地活用の真意を伺う (7) 「塩づけ土地」解消の進捗状況を伺う (8) 2000年から、2007年までわずか7～8年しかたっていないのに庁舎建設の方針がクルクル変わっている。少なからず市民に影響がでている その経緯と理由を市民に説明責任を果たすべきではないか伺う
		2 共済年金に ついて	共済年金施行(昭 41. 7. 1)以前の在職期間の算定が同じ定数職員であるにもかかわらず職名によって 100%保障される人、給付率が 45%カットされる人がでている このカットの対象者は、一般事務職の「雇」現業関係の運転手、工夫、工長などである。受給される段階においてこの不利益を知り困惑する実態が起きている (1) カットしている根拠規定は何か伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 法人保育園 への支援につ いて	(2) 市退職者の中で、対象者はどれ位いるのか 伺う (3) 当局は対象者に事情説明する必要はないか 伺う (1) 保育園に措置されている、子供たちの安全 のため、保険適用は重要なことである 子供たちに万が一事故や事件が発生した ら、措置権者の市長の責任も問われかねない 社会福祉法では、国、地方公共団体は責任 を他の社会福祉団体に転換し、または、財政 的援助を求めないこととしている。従って、 保険制度の確立と保障をしっかりと継続すべき と考えるが、当局の考えを伺う (2) よりよい保育サービスの向上のため、保育 所の施設整備助成金、運営助成金は、必要不 可欠と考える。当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 「環境の杜ふれあい」について 2 「エコ・アクション21」について 3 「地上デジタル放送対応」について	平成19年7月に「環境の杜ふれあい」が供用開始された。多くの市民が利用していると聞いている。施設の利用状況と広報活動について伺う (1) 環境負荷の軽減として中小企業が講習を受け、安価でE A－21認証取得できるシステムと聞いている。企業はE A－21認証取得後、どのような活動をするのか (2) E A－21認証の全国・県内・市内の取得状況について (3) E A－21認証取得する事により、環境負荷が軽減される。E A－21認証をI S O14001認証と入札等に同格に格付けをして加点することについて 地上デジタル放送が、2011年から本格的にスタートする。公共施設の対応について (1) 市営住宅の対応について (2) 学校施設対応について（幼小中学校） (3) 県営住宅への対応が遅れていると聞いている。県への取り組み要請について (4) 本庁舎（各支所）の対応について (5) 市立病院の対応について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	石嶺小学校裏門への通学路に雨が降ると水溜りができ、登校時に汚れてしまうとの苦情の声がある。道路には側溝がなく、早急に整備が必要である。側溝整備について伺う
		5 交通行政について	石嶺4丁目内にある石嶺9号は、交通量も多く渋滞を招く。道路が狭く大型車輛が通ると、接触事故もあり、住宅への被害もあり、交通規制ができないかとの声がある。大型車輛の交通規制の看板は設置できないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	高 良 正 幸 (自民・無所属 連合)	教育行政について	(1) 未成年の飲酒問題 主として市内中学生について ① 本県の現状と那覇市、または他の市町村との比較 ② 飲酒による影響 ③ 飲酒に対しての最近の傾向、特徴は ④ 酒の入手方法は ⑤ これからの市当局の具体的な対策は (2) 成人式について ① これまでの取り組みと経過 ② 今後の対策 ③ 成人式後、繁華街で騒ぐ若者を防止するために、路上喫煙防止条例のようなものが出来ないか (3) 学力テスト全国最下位問題について ① 教師の指導力不足との意見があるが、それに対しての見解を求める ② 沖縄の社会環境の悪さが指摘されているが、これから家庭、地域との連携を具体的にどうするのか ③ 全国の中で唯一学力テストに参加しなかった愛知県の犬山市についてどう考えているのか ④ 那覇市の一般予算における全体の中の教育費の割り当ては
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 那覇新都心 地区おもろま ち一丁目の土 地利用と都市 計画行政につ いて	(1) 市長は、昨年 9 月 6 日、那覇新都心地区おもろまち一丁目の土地利用事業者の募集についての記者会見で「本件土地に係る都市計画法による現行の用途地域にはとらわれず、那覇新都心地区及び本市にとって最も望ましくふさわしいと考えられるもので、安定的かつ実現性のある具体的な提案を求めています」とコメントを発表している。募集要項でも線を引いて「現行の用途地域にとらわれず」を強調している。その理由を問う (2) 市が昨年12月 6 日、土地を売却する優先交渉権者に決定した民間業者は、136m・34階建ての超高層マンション 2 棟、21階建ての商業ビル・1 棟の建設の土地利用計画を提案している 那覇の個性を活かした、美しいまちづくりを進めるため、1985年に「都市景観条例」を制定し、那覇の歴史性と地域性豊かな都市景観を「まもり・そだて・つくる」施策を推進している那覇市にとって、首里城をも見下ろす海拔167mの高さとなる超高層ビルの建設が、最も望ましくふさわしい土地利用と考えているのか。そこには琉球王国・首里城をもつ那覇市民の誇りと魂が反映されていないのではないか (3) 同市有地の売却において、現時点での那覇市と優先交渉権者の法的権原を問う。那覇市が優先交渉権者決定を破棄した場合、優先交渉権者から那覇市に損害賠償を請求することができるのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 同市有地について、都市計画の用途地域の変更が確定したことで価値がどれだけあがったのか。用途地域の変更によって、建設できる床面積は、条件にもよるが倍以上になったのか (5) 市の財産・土地の処分について、法律・条例などでどのように規定されているか 今回、最低売却価格はどのように決めたのか (6) 市長の公約であった市役所建設を待ち望み、住宅を建設、購入、マンションなどに入居した地域住民は、136mの超高層ビル群が建設されると、ものすごい圧迫感、ビル風、日照、交通渋滞など、住環境がめっちゃくちゃになると反対している。さらに、首里地域や多くの市民からは、世界遺産・首里城のある那覇市の歴史的景観が壊れ、観光産業の発展にも大きなマイナスを及ぼすと懸念や怒りの声がわきあがっている 地域住民がやむにやまれぬ気持ちから始まった、住環境を考える市民運動と署名も市民の支持を得て大きく広がっている。市政の主役である市民の声を無視し、民間業者への売却ありきで突っ走る市当局の態度は改めるべきではないか。公約を反故にした市長は、市民の声に誠実に応える責務があるのではないか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 「ハンセン病問題基本法（案）」の制定への支援について	国の誤った強制隔離・絶滅政策で筆舌に尽くしがたい体験を強いられた平均年齢80歳近いハンセン病元患者たちが、人生をかけた、最後の運動に立ちあがっている。名護市の愛楽園、宮古島の南静園を含め、全国に13ある国立ハンセン病療養所を、療養所が地域から孤立したものではなく、地域の医療・介護施設として、またハンセン病問題を考える歴史・資料館など、特徴を生かして社会に開かれた施設にすべきだと取り組んでいる そして、その実現の最大の障害となっている「らい予防法の廃止に関する法律」にかわる、「ハンセン病問題基本法（案）」の制定を目指している。宮古島市では、伊志嶺亮市長が先頭に立って元患者や市民、諸団体と力をあわせて集会や署名、呼びかけを行うなど尽力されている 那覇市長も、ハンセン病元患者たちの運動を積極的にバックアップすべきではないか。全県市長会、九州市長会、全国市長会などでも働きかけ、政府に強く要請すべきではないか
		3 モノレール延長について	県の延長検討委員会で最終案決定が先送りになった理由と、市の方針と見通しを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	玉 城 彰 (民主クラブ)	1 行財政計画について 2 環境行政について	去る 11 月 14 日に翁長市長からマスコミの記者会見で発表された中期財政計画（2007 年度から 2011 年度）の次のことについて、当局の見解を伺う (1) 2014 年度までの市立病院職員を除く、実質的な 310 人削減計画の各年度毎の具体的な数値目標について (2) 削減に伴う業務運営体制と臨時・非常勤職員等の補充計画はどのようなになっているか (3) 普通財産や有価証券の売却対象について (4) 公的施設の使用料の適正化の考え方について (5) 300 事業の廃止・縮小の主なものと個別の年度実施計画について 今定例会に、市及び市長が指定する者以外の資源化物の収集または運搬を禁止する「那覇市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定」が提案されているが、次のことについて伺う (1) 条例はどのような人を対象としているのか。また市及び市長が指定する者について (2) 取り締まりの体制について (3) 過料の徴収方法について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 収入の活用方法について (5) 過料を1万円とした根拠について (6) 今後の取り組みについて
		3 福祉行政について	後期高齢者医療制度の保険料の「所得割」と「均等割」の内容と個人の算出方法及び軽減・減免措置について、当局の見解を伺う
		4 御茶屋御殿跡地周辺の公園整備について	平成18年12月定例会で質問したが、その後の取り組み状況について伺う
		5 情報公開について	平成17年12月定例会で、ごみ焼却炉から発生するダイオキシンの測定を年1回以上行い、その結果を市民の友やインターネット等で情報を公開すると約束したが、実施状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 19 年 12 月 12 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	翁 長 俊 英 (公 明 党)	1 道路行政について	(1) 県道 222 号、真地久茂地線、真地薬局周辺の道路整備の進捗状況について伺う (2) この周辺地域は下水道が未整備である。今後の整備計画について伺う
		2 公園行政について	新都心公園「沖縄の杜ゾーン」の整備計画について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長